

負のスパイラルを断ち切る

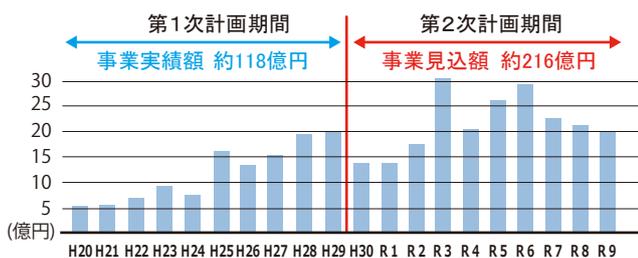


下のグラフは各計画期間における投資額を表したものだ。第2次津市水道事業基本計画(第2次計画)では、津市水道事業基本計画(第1次計画)の約2倍となる総額約216億円の建設改良事業を計画しているよ。

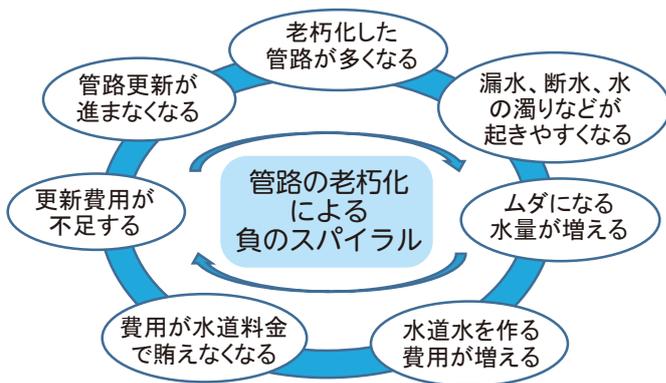


なぜ第2次計画では投資額が多くなったの？

投資額(建設改良費)の推移



第2次計画では古くなった水道施設の更新事業を迅速かつ着実に進めていくために、これまでよりも投資額を増やして対応していくんだ。老朽化の進行で漏水などが多くなると、下図のように負のスパイラルに陥ってしまうよ。これを断ち切るために更新事業を進めていくことは、水道水の安定供給にとって非常に重要なんだよ。



安全・安心な水道を将来世代に



安全・安心な水道事業を続けるため、第2次計画では令和3年度の料金改定を前提として、貯金は約50億円を下限目安に、借入金は170億円を上限目安としたんだ。

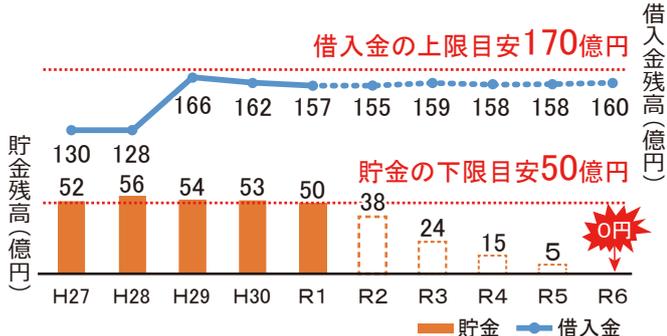


令和3年度の料金改定を見送ったけど、これからの経営はどうなるの？



料金改定をしないままだと、必要な建設改良事業を計画どおり行っていくための資金が確保できないんだ。老朽化対策や施設耐震化など、第2次計画で実施予定の事業には多額の資金が必要になってくるんだけど、借入金はすでに上限目安に近いんだ。貯金を活用して事業を進めた場合だと、令和6年度には底をついてしまうんだよ。

貯金と借入金



水道事業を続けていくためには料金改定をするしかないの？



料金改定をせずに水道事業を続けていくためには、管路の更新事業を減らすか、借入金を増やすしかないんだ。



それじゃいけないの？



管路の更新事業を減らした場合は、老朽管がさらに増えてしまって、安全・安心な水道水の供給に影響があるんだ。借入金を増やす場合も、増えた借金は将来世代が負担することになるんだ。



それじゃ困るね。



更新事業を着実に進め、安全・安心な水道水を将来にわたって安定的に供給することが重要だから、そのために料金改定を行う必要があるんだ。

今の水道を維持することはもちろん、50年先、100年先の世代まで安定して水道水を届け続けるのは、今を生きる私たちの責任です。